

愛知県豊橋市におけるAIリアルタイム防災・危機管理サービス 「Spectee Pro」導入事例を公開

～迅速に、正確に、必要な情報を収集。災害時の意思決定がスムーズに～

防災テックベンチャーの株式会社Spectee（本社：東京都千代田区、以下「スペクティ」）が提供するAIリアルタイム防災・危機管理サービス『Spectee Pro』の愛知県豊橋市への導入事例を、公式サイトにて公開したことをお知らせいたします。

導入事例URL：<https://spectee.co.jp/case/toyohashi-city/>



■『Spectee Pro』を導入したきっかけ

「東日本台風で威力を発揮、災害発生時に迅速かつ正確に情報を収集」

災害時には、市民の安全確保のための注意喚起や避難に係る情報配信から人命救助や道路・橋梁などの応急復旧まで、幅広い対応が必要となります。災害対応を迅速かつ正確に行うためには、より多くの情報を収集する必要がありますが、これまで職員の巡回や市民からの電話による通報など限られた手段しかなく、課題だと感じていました。

そんな中、『Spectee Pro』の話を聞き、SNSなどの投稿情報を活用して、リアルタイムで情報収集ができるということで、早速トライアルを開始しました。

トライアル期間中に発生した東日本台風（令和元年台風第19号）の災害対応において、『Spectee Pro』が大いに活用でき、有効なツールであることを実感したこともあり、正式に導入することになりました。

■『Spectee Pro』の導入効果

「どの地域でどのような被害が発生しているかリアルタイムに把握」

令和5年（2023年）6月の線状降水帯発生による、観測史上最大の降雨の際は、豊橋市の一級河川豊川沿いの3つの霞提地区の冠水や市内を流れる河川が越水したほか、市内のいたるところで浸水被害がありました。

『Spectee Pro』で配信される200件以上の動画や写真から冠水・内水氾濫などの状況や車の水没、マンホールから水柱が上がる様子など、どの地域でどんな被害が出ているのかを迅速に把握することができました。

問い合わせ先

株式会社Spectee 広報担当：平川

TEL：03-6261-3655 MAIL：press@spectee.com

■豊橋市防災危機管理課様のコメント

私たちのチームの役割は災害時に、市が判断できる情報をそろえることです。

そのためには、**有事の際『いかに迅速に、正確に、必要な情報を収集し、関係各所と共有できるか』**がポイントになります。今後も継続して『Spectee Pro』などのDXを活用した訓練や研修、マニュアルの整備を行い、大規模災害時の迅速な災害対応に活かしていきたいと思います。

参考：自治体における災害発生時の課題に関する意識調査

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000209.000016808.html>

■『Spectee Pro』について



『Spectee Pro』は、SNSや気象情報、自動車のプローブデータ、全国1万台以上の道路・河川カメラなどを解析し、世界で発生する災害や危機を、迅速に収集、可視化、予測できる**AIリアルタイム防災・危機管理サービス**です。

お客様が必要な情報をリアルタイムに通知、独自開発のAI技術やマップ機能などを活用して、正確かつ整理された情報を瞬時に入手することができ、災害対応やBCPを目的に民間企業・自治体などのお客様にご利用いただいています。

なお、地方自治体では、**全国の自治体で導入されており、都道府県庁では約7割導入**されています。

■株式会社Spectee（スペクティ）について



「“危機”を可視化する」をミッションに、SNSや気象データ、カーナビ情報、道路・河川カメラなどのデータから災害やリスク情報を解析し、被害状況の可視化や予測を行っています。

<会社概要>

本社：〒102-0076 東京都千代田区五番町 12-3 五番町YSビル 3階

代表者：代表取締役 CEO 村上 建治郎

設立：2011年11月11日

公式サイト：<https://spectee.co.jp>

問い合わせ先

株式会社Spectee 広報担当：平川

TEL：03-6261-3655 MAIL：press@spectee.com